

Q

グループホームで暮らしています。これからも暮らしていきたいけれど、年金だけでは生活が不安です。



A

地域の中の住み慣れたところで暮らしたいというのは当然のことですよね。そのためにも、グループホームというのはいいい方法だと思います。グループホームの良さや必要性は国や自治体も理解しているところなので、そこに予算がうまく配分されるように、みんなで考えていきましょう。



Q

地下鉄の駅には、階段とエスカレーターしかなくて、車いすで行き来しにくい所があります。スロープをつけてください。



A

いろいろな障がいのある方がいますが、みんなが自由に出入りできる街をつくるのが大事だと思います。でも、障がいのない人には、何が不便なのか分からないこともありますよね。そこで市では、障がいのある方が障がいのある方の意見を聞くための政策提言サポーター制度を設けました。障がいのある方たちが意見を出し合うことで、街全体を変えることができると思うので、皆さんもどんどん意見を出してくださいね。

Q

市が主体となって、障がいのある人たち向けにホームヘルパーの講座を開いてもらえないでしょうか。本人たちが資格を取って、給料をもらうことで、自立した生活を送ることができるようになると思います。



A

直ちにできるかどうか分かりませんが、作業所以外にも仕事の間を広げるためにどのような方法をとるべきか、今まさに検討しているところです。貴重なご意見をありがとうございます。

Q

今後の雪まわりはどうしていきたいですか。



A

雪像づくりはとても面白いものです。大きくて立派な雪像もいいけど、みんなで作る市民雪像がもっと増えるといいですね。外国や道外からもお客さんがたくさん来てくれる催しなので、もっと大きくしていくためには、市民が参加しやすいものにするのがいいと思います。

「出前講座」を行っています!

市では、職員が市の施策や事業について分かりやすく説明する「出前講座」を実施しています。皆さんの要望に応じて地域に出向き、これまでに30以上の団体が利用しています。



実施例

■テーマ/市民自治の取り組み
市役所改革は、どんなふうに行っていくの?
■受講の理由/「市民自治に関心があったので」「変わる市役所を知りたかったので」

■テーマ/敬老パス
■受講の理由/「直接生活との関連がある問題だから」「これから高齢者の生き方を学ぶため」

■テーマ/みんなで参加“防火・防災、救急セミナー”
■受講の理由/「つい先日大きな地震があり、身近な住民同士の助け合いが必要だと感じたから」

■その他実施されたテーマ/
みんなで取り組む健康さっぽろ21、中央卸売市場の役割と流通のしくみ、個人所得と市税、火葬と副葬品など



※テーマやお申し込み方法など、詳しくは市役所11階広報課や区役所広聴係で配布中のパンフレットのほか、ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/somu/demaekoza/>をご覧ください。

■対象/市内に在住、在学、在勤する、おおむね20以上の町内会、サークル、PTAなど
■詳細 広報課 ☎211-2036